



小学校の適正配置(統廃合)に関するお知らせ

十和小学校区における意見交換会開催概要(平成28年12月18日)

- 市民** 複式が始まる平成31年に、十和小が谷原小か福岡小と統廃合することはできないか。子どもが少なすぎると教育上も問題がある。
- 市** 3校同時ではなく、複式発生前にどちらかの統合は可能か。
- 市民** 枠組みとしては、3校が同時に一緒になって新しい学校を作る考えである。しかし、話し合いの中で合意形成に至らない場合、熟度が増した学校同士で先に統合をすることも考えられる。
- 市民** 複式学級発生が平成31年と予測しているのに統合が平成33年になるのはなぜか。
- 市** 現在、複式が発生している学校を優先したいと考えている。
- 市民** 廃校後の使い方はどうなるのか。
- 市** 有効に施設が利用できるよう、活用の仕方を一緒に考えて頂きたい。
- 市民** (仮称)富士見ヶ丘小学校の児童を既存の小学校に通学してもらうようなことは考えられないか。
- 市** コミュニティが未成熟であるみらい平地区において、居住地を細かく分断して既存小学校区に振り分けるような学校区を設定するのは、現実的ではないと考えている。



福岡小学校区における意見交換会開催概要(平成28年12月21日)

- 市民** 洪水に対して安全である福岡小学校を廃校にするのは何故か。
- 市** 統合して新しい学校となる場合は、様々な安全対策も踏まえて考えていきたい。
- 市民** 地域の人口減少対策を考えるのが先。若い人が住み着く環境整備が必要と思う。
- 市** 皆様の様々なご協力によって、地域がよくなってきていると思うが、子供たちの教育の場をいかによくしていくかを皆様と一緒に考えていきたい。
- 市民** 廃校後の学校の利用予定はあるのか。それが決まってから統廃合ではないか。
- 市** 跡地利用も含めて、並行しながら皆様と話し合っていきたい。
- 市民** 福岡地域は工業団地が出来る予定である。今後、住宅なども張り付くと思われるのに何故統合するのか。
- 市** 強制的に進めるつもりはない。教室数などの学校施設規模と小中一貫校といった今後の市全体の教育環境を考えた中で、この適正配置基本計画をまとめた。
- 市民** 谷原小の教室数が足りなくなった場合、特別教室を無くし普通教室を増やすのか。
- 市** 児童数の増加が想定され、教室数の不足が見込まれる場合は、増築等を行って対応することになる。
- 市民** スクールバス通学となると朝も早くなる。乗り遅れた場合などはどうするのか。
- 市** ルートやバス停、所要時間などについては今後の話し合いの中で調整したい。
- 市民** 安全性も考慮すれば福岡小への統合を望む。教室不足は増築すれば解決できる。
- 市民** 今後の地域の発展にブレーキをかけることになる。教育環境を守ることも大事であるが、地域のコミュニティの維持も大事だと思う。



年末のお忙しい中、意見交換会にご参加下さり、誠にありがとうございました。いただきましたご意見やご提案を踏まえ、“みらい”を担う大切な子どもたちの教育環境を第一に考えながら、保護者や地域の皆様と一っしょに今後も話し合いを続けて参りたいと考えています。